

第3回 富士見丘小・中学校改築検討懇談会会議録

会 議 名	第3回富士見丘小・中学校改築検討懇談会
日 時	平成30年6月21日（木）午後3時～午後4時40分
場 所	富士見丘小学校 特別活動室
出 席 者	懇談会委員18名（欠席6名）
傍 聴 者	3名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 第1回懇談会における主な意見等について</li> <li>3 第2回懇談会の事例視察について</li> <li>4 敷地条件と標準建物面積等について</li> <li>5 改築基本方針（たたき台）について</li> <li>6 改築かわら版の発行について</li> <li>7 閉会</li> </ol>
資 料	<p>資料1 第1回懇談会の主な意見等について</p> <p>資料2 第2回懇談会施設見学レポート</p> <p>資料3 敷地条件と標準建物面積等について</p> <p>資料4 改築基本計画 構成イメージ（案）</p> <p>資料5 改築基本方針（たたき台）</p> <p>資料6 富士見丘小・中学校 改築かわら版 創刊号（案）</p> <p>資料7 富士見丘小・中学校 改築かわら版 配布概要について</p>

進行役	<p>本日は、第3回富士見丘小・中学校改築検討懇談会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日も、会議時間は2時間程度、午後5時頃の終了を目安に進行したいと思いますので、ご協力をお願いします。</p> <p>（欠席者等についての連絡）</p> <p>まず初めに、懇談会委員で、第1回の段階では、高井戸西学童クラブの保護者の方が未定となっていました。委員が決まりましたので今回からご出席いただいています。一言自己紹介をお願いします。</p>
委員	<p>今回から参加させていただきます、高井戸西学童クラブの代表で参りました。よろしくをお願いします。</p>
進行役	<p>それから、第1回に事務局側のメンバー紹介をさせていただきましたが、今回から出席者の追加がありますのでご紹介します。</p>

学校整備担当 課長	学校整備担当課長の岡部と申します。今回より事務局の方に参加させていただきます。よろしくお願いいたします。
学校整備課長	第2回の視察から同行していただいておりますが、今回の基本計画策定に当たり、支援業務を株式会社池下設計様にお手伝いをさせていただくことになっております。今回から懇談会にも同席してもらっています。簡単に自己紹介をお願いします。
基本計画策定 支援業務受託 者	池下設計の髙好と申します。私どもの会社は、阿佐谷南に拠点を置いて設計活動を行っております。今回の富士見丘小・中学校の基本計画策定に関して、お手伝いをさせていただくことになりましたので、よろしくお願いいたします。
進行役	それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。 次第2「第1回懇談会における主な意見等について」ということで、事務局から説明をお願いいたします。
学校整備課長	それでは、資料1、第1回懇談会の主な意見等についてということでご説明をさせていただきます。 (資料1を説明) 通学距離については、大きな問題でございますので、学務課長の方からお話をさせていただきます。
学務課長	こんにちは。学務課長の高山です。私の方から通学距離のことについて、お話しさせていただきます。4月から学務課長として懇談会に参加させていただいて、課題に対応していくこととなります。第1回懇談会が終わった後、八幡山に実際に足を運びました。そちらから歩いて、大人の足でも30分ほどかかることを自分でも確認させていただきました。大きな幹線道路を通るところもあって、危険だということも感じましたし、様々な問題を抱えているということを実感させていただいたところです。 平成27年の懇談会のまとめの中でも、上高井戸地域の長距離約1.7kmの通学に問題があるのではないかとということが指摘されているのと、スクールバスの導入を視野に入れてということで、様々な角度から検討をすることがうたわれております。そういった自分の実体験を踏まえて、例えば、スクールバスの導入について、他の自治体でどのようなことがあるのか状況も調べさせていただきながら、今後、子どもたちの通学路の安全確保をどうしたらよいかということで、鋭意検討させていただいております。 本日、どうするかというところは申し上げられないのですが、総合的に色々考えさせていただいて、次回又は早い段階でお知らせさせていただきたいと思っております。
進行役	ありがとうございました。以上ご説明いただきましたが、ご意見ご質問ありませんでしょうか。
委員	今、上高井戸地域の通学距離のお話をしていただいたのですが、やはり上高井戸地域や芦花公園の地域の人も多く学童に通っています。学童も小中一貫となった場合、さらに遠くなり、スクールバスがもし出るようになったとしても学童の

	<p>子供が帰る時間にバスが出るのかということも1つの課題となると思います。児童の帰る時間がバラバラになると思いますので、学童に通わない子どもたちはスクールバスに乗れて、通っている子供は乗れないのもどうなのかなと思いますので、そういった点も含めて今後のことを考えていただければと思います。</p>
学務課長	<p>スクールバスということだけではなく、安全確保ということと、動線が色々変わってくる中での学童との関係を含めて考えなければいけないと思っています。安全確保であれば、安全指導員やボランティアを手厚くするなど、こういった地域を重点的に整えていかなければ、問題が出るのではないかとということを総合的に考えて、判断をしたいと思います。</p>
進行役	<p>それでは次第3の第2回懇談会の視察レポートについて、第2回はご欠席の方が多く、時間の都合で、意見交換の場も十分に取れませんでしたので、今日は資料やスライドで視察を振り返って、その後意見交換ができればと思います。それでは、設計事務所から説明をお願いいたします。</p>
基本計画策定 支援業務受託者 基本計画策定 支援業務受託者	<p>(スライドを使って資料2を説明)</p>
進行役	<p>ありがとうございました。今ご説明いただいたことに関して、委員の皆様からご意見やご感想がありますでしょうか。</p>
委員	<p>種類の違う一貫校、小中の校舎を見ることができてよかったと思います。うちの学校がどのようになるのかは、模索の段階なのですが、杉並和泉学園の方の学校に近いのかなという感じもするのですが、校舎の形としては品川区立豊葉の杜学園のように2つの建物間に渡り廊下がある形になるのかな、と思うのですが、両方見学できてよかったと思います。</p> <p>杉並和泉学園の副校長先生が、開口一番、大変だったとおっしゃっていたのは印象的でした。大変でしたけれど今は落ち着いていますということでした。大変なんでしょうけれど、それに合わせて結果的にはいい方向に向いていくのだろうという感触は受けました。</p>
委員	<p>2つの学校を見て、こちらに戻ってくると、やはり狭いなと思いました。見学した2校に比べると圧倒的に土地が狭いと思います。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。</p> <p>それでは、続きまして次第4の敷地条件と標準建物面積について、事務局から資料のご説明をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料3をご覧ください。これから、目指す学校づくり等などについて、皆さんにお話いただくのですが、どのくらいの建物が建てられるのか、基本的な条件をお示しさせていただきました。1ページ目は、都市計画図でございます。富士見丘中学校東側の富士見丘通りの沿道20mが第二種中高層住居専用地域ということで、少し高い建物が建てられるようになっております。それ以外については、</p>

第一種低層住居専用地域ということで、かなり規制の厳しい区域となっております。

次に、2ページ目に具体的な規制を一覧にしております。第一種低層住居専用地域については、指定容積率 80%ですので、敷地の面積に対して 8 割しか延べ床面積は建てられないということになっており、尚且つ 10mの高さの限度があります。今回、学校ということで、許可をとって少し高い建物も建てられるかと思いますが、基本的にはそれほど高い建物は建てられない場所です。富士見丘通りの沿道につきましては、容積率が 200%ということで、少し大きい建物も建てられる区域になっています。

3ページ目に現在の周辺の道路状況をお示ししています。富士見丘通りについては、現在幅員が 6.4mほど、区営住宅のところには敷地内の歩道として、2.5 m程度歩道がございますので、かなり広がっています。区営住宅の西側、王子製紙社宅跡地との間ですが、幅員が 6 m程度でさらに歩道状空地が 2 mほどついています。中学校の周りについては、富士見丘通り以外については 4 m以下の狭あい道路になっているということです。第 1 回の懇談会の時にも、道路の整備が課題とのご意見もありましたが、このような状況となっているということでございます。

続きまして 4 ページ目、実際にどれくらいの建物が建てられるのかについてです。今年度測量中でございますので、数値としては暫定の概算ではございますが、西側の社宅の跡地に建てられる建物は 5,800 m<sup>2</sup>程度、富士見丘中学校の東側につきましては、9,600 m<sup>2</sup>程度で、合わせますと大体 15,400 m<sup>2</sup>程度でございます。

それに対して、学校でどのくらいの建物が必要なのかということをお示しさせていただきます。この前段として、どのくらいの学級数を見込むのかということでございますが、そちらについては今年度の新しいデータを使って集計中でございますが、概算で小学校については 18 学級、中学校については 12 学級程度想定されると思っております。第 1 回でお話しましたように、小学校は今 13 学級、中学校が 9 学級ですので、多少増えているということも踏まえて、それにも対応できるようなクラス規模で、仮に 18 と 12 を想定します。

杉並区立小中学校老朽改築計画に標準的な建物の規模を定めておまして、これはあくまで目安ですが、小学校については 8,000 m<sup>2</sup>程度、中学校については 7,800 m<sup>2</sup>程度となっております。合わせますと 15,800 m<sup>2</sup>程度が目安として考えられるということでございます。先ほどの 4 ページ目の建築可能面積と比べていただきますと、全体としてかなり厳しく、小学校、中学校をしっかりと入れていくだけでもぎりぎりの状況です。

もう 1 つは、西側の用地はかなり厳しく建物を建てられないので、そこをどうしていくかが今後課題になっていくかと思っております。

具体的にどのような建て方があるのかについては、次回、第 4 回懇談会のときにお示しさせていただくとして、今回は全体のボリューム感をつかんでいただくということで、説明をさせていただきました。

進行役	ありがとうございます。只今のご説明に関して、ご意見、ご質問ありますでしょうか。
委員	法的な要件でこのように決まっているということでしたが、建てられる延べ面積を増やす方法はありますか。
学校整備担当部長	お示ししたのは、標準的な建築基準法や都市計画法をそのまま当てはめた場合です。法の中には但し書き等がありますので、今後細かく調整していく予定です。例えば、中学校の敷地に建てられる面積を小学校側に分け与えるなど、敷地の有効活用ができるかなど法規制を詰めさせていただいて、これから何パターンか案をお示ししていきたいと思っております。
委員	感覚としてでいいのですが、緩和措置は可能なのでしょうか。
学校整備担当部長	法律的には、延べ床面積を大幅に増やすことはできませんが、富士見丘中学校側に建築可能な面積を、あまり建築できない富士見丘小学校側へ持っていけるかどうかを今後、詰めていきたいと思っております。
委員	可能性としては、それくらいしかできないということですか。
学校整備担当部長	そうです。
学校整備課長	2敷地の建築可能面積の合計 15,400 m <sup>2</sup> 以上には増えません。その中で、小学校は 5,800 m <sup>2</sup> 、中学校は 9,600 m <sup>2</sup> と、建築可能な延べ面積に極端に差があります。この通りに建てると、富士見丘中学校の校庭を今より狭くすることになり、小学校の方は低層で小さな建物になるなど、アンバランスになるので、その辺りを制度を使って中学校側の延べ面積を小学校側に移して、バランスを取るような検討を建築当局とも行っております。
進行役	実現の可能性はないかもしれませんが、地下は検討対象ではないのでしょうか。その部分で面積を増やすことは可能なのでしょうか。
学校整備担当部長	今の話は、容積率や延べ床面積の話でしたが、他には高さ規制というものがあります。第一種低層住居専用地域は 10mしか建てられませんので、主に住宅を建てるエリアです。そこへRCの大きいものを建てるので 10mだと3階建が建築できるかどうかという程度です。実際今の中学校も4階建てになっているのですから、その分少し上乘せしないと先ほどの延べ面積が入らなくなります。高さについても多少建築基準法の緩和規定がありますが、それでもやはり階数をつくらないと延べ面積を使いきれないケースがあるとしたら、そのときは地下を掘って、全体の高さを地下にもぐらせながらこの許容できる延べ面積をそこに入れていくということを検討していきます。
進行役	はい。ありがとうございました。その他ご質問はございますでしょうか。
委員	5ページ目の資料で、小学校は 18 学級中学校は 12 学級という想定になっていますが、一貫校でなく、多数の小学校と連携する将来像について、一貫校ならば概ね小学校から中学校までということで、どのくらい中学校に行かずに私立に行

	<p>ってしまうとか、どのくらい子どもさんの所帯が増えるかという比較的単純な推定で済みますが、この地域の場合小学校が4校あるので児童・生徒数の推定はもっと複雑になるのではないかと思います。いかがでしょう。</p>
学校整備担当部長	<p>学校の規模を決める際の一番の肝は、児童数・生徒数です。人数を推定するのに、色々な考え方があります。</p> <p>まず1つは、将来の児童・生徒数の推定です。今区役所でつかんでいるのは、住民基本台帳で、杉並区に住んでいるお子さんの数が0歳児から5歳児まで、6歳児から中学3年生の年齢まで、地域のお子さんの人数が分かっております。0歳の方が6年経ったら、小学1年生で入って来ます。そのときの人数が1年生の児童数クラス数に影響し、1先生が6年間ずっといるとすると、6年までの学級数が決まります。次に6年を卒業して中学校にあがるときにそのまま区立の中学校にあがるのか、私立、他の公立、国立に行くのか進学率がでていて、そこでまた中学校1年生の生徒数、クラス数が決まります。</p> <p>もう1つは0歳児の住基人口が小学校1年生にあがるまでに、どのくらいの方がこの地域にお住まいになり続けるかということも予測しなければなりません。定住化率というのですが、お子さんが1年生にあがる時に例えば他の地域にマンションや戸建て住宅へ移るだとか、親御さんと同居を始める等で転出される方もいらっしゃいます。反対に、放射5号線もできてきて、用途地域も大きく変わっていますので、将来マンションが建つこともあります。その辺の人口の推移も変わると、それを将来5年、10年間の予測を立てて、児童数を出して、クラス数を推定するというやり方です。仮定で、18学級と12学級と定めたのは、厳密な計算をしているわけではないのですが、進学率や定住化率を出して、児童・生徒数を推定すると、このような数字となっております。</p> <p>また、改築すると他の学校でもそうなのですが、新しい学校ということで人気があります。そうすると、私学へ行く予定のお子様方が公立へ入学してくる可能性や、他のエリアから転入してくる可能性もあります。そのような状況が新築校、改築校で起こっておりますので、その分の余裕も見込んでいます。</p>
委員	<p>いくら緻密に積み上げても、現実にはまた違ってきてしまうと思います。一貫校にするか、連携校にするかという大方針もこれから検討ということですが、もし連携校となると一層推測が難しくなると思います。これは事務局もよくお分かりですけれども、我々も最初から決め付けると間違ってしまうと思いますが、かといって具体的な数字が出ていなければ、色々検討ができないというジレンマがありますが、その辺りも心得ながら検討できたらと思います。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>今お話がありましたように、推計で人数を出して、学童も必要な面積を出していると思うのですが、この大きさで今いる学童の子どもたちは全員入ることは可能でしょうか。待機児童もございます。そういう子どもたちも入りきれぬ大きさかどうか、教えてください。</p>
子どもの居場	<p>区の基準においては、1人あたり1.65㎡程度必要となっており、それを順守</p>

所づくり担当 課長	するとともに、今後の学童クラブ需要推計に基づき、面積を算出していきます。
進行役	他にいかがでしょうか。
委員	今日は通学路についての話はできませんか。上高井戸地区と久我山一丁目地区は、旧NHKグラウンドの東側の細い道を利用する人が多くなると思うのですが、その道路は曲がりくねっていて途中先が見えなくなりますので、もう少し整備して見通しがよくなるかと考えております。東京都では、公園の整備計画がほとんど終わっているようで、今の形状をそのまま利用するような形になっているので、その辺りの話し合いが可能かどうか、と思っています。
教育施設計画 推進担当係長	東京都から、高井戸公園北側部分の工事説明会が先日あったと思うのですが、南側の部分、先ほどおっしゃられた旧NHKグラウンドの東側部分は南側地区ということで34、35、36年度で開園予定ということで、まだ工事の設計も詳細はこれからで、我々も連絡を取り合って色々進めております。NHKグラウンドのところはまさに通学路ということで、街路灯などをどうするかということも含めて、お話をさせていただいています。
委員	今の設計図面では、野球のグラウンドがあって、今の道路に沿ってまっすぐになっているのだけれど融通が利くのであれば、道路を広げて見通しのいい道路にできればと思うのですが。
学校整備担当 部長	東京都の高井戸公園は全体が整備未完了です。今回の整備は、東側を中心に整備いたします。真ん中に通っている区道については、都市計画公園内の道路なので、将来的には、東京都の公園緑地部と打合せしなければなりません。ただ、現時点では公園も未整備ですし、学校の前の区道も広げる必要がありますから、これから公園緑地事務所と話していかなければなりません。区の土木と話しているのは、現況の道路の幅は確保してもらって、公園はちょっと下がってもらって、歩道状空地という人の歩けるような部分を作ってもらうように、歩きやすい道づくりは東京都にお願いしてあります。今後、児童の通学区域の安全の話をするときには、歩道状空地を児童・生徒が歩けるように、区の土木の方から東京都の公園緑地部へお願いしていくことになるかと思えます。
進行役	他にございますでしょうか。 では、次第5の改築基本方針（たたき台）について、事務局の方からご説明をお願いいたします。
学校整備課長	資料4をご覧ください。改築基本計画の構成イメージ（案）としています。第1回懇談会で高見澤先生からもご意見をいただいたように、当面の目標である改築基本計画のゴールイメージを皆さんで共有していただくものでございます。特に今回はご意見をいただきたいのは、「3改築基本方針」です。後ほど、富士見丘小・中の校長先生の方からもお話をいただきますが、それも踏まえてご意見いただければと思っております。「4施設整備計画」は、次回以降にいくつかの配置案を具体的に示して、ご意見をいただく流れになっておりますので、あくまでイメージということでお考えいただければと思えます。

	<p>(資料4の説明)</p> <p>本日はこの中の3章の改築基本方針について、各校長先生に資料5でお話をいた      だいて、特にそこについてのご意見をいただければと思います。</p>
進行役	<p>それでは資料5をご覧ください。富士見丘小学校校長先生お願いいたします。</p>
富士見丘小学 校校長	<p>今年度教育委員会に出しました教育課程届けに基づきまして、書いておりま      す。</p> <p>(資料5の1、2ページを説明)</p>
富士見丘中学 校校長	<p>では、続きまして3ページ目以降につきまして、私の方から説明させていただ      きます。富士見丘中学校の今年度の教育計画になります。教育目標はずっと変わ      っておりません。</p> <p>(資料5の3、4ページを説明)</p> <p>以上が富士見丘小学校、中学校の基本的な教育計画となっております。こうい      ったものに基づきまして、これは教育委員会と具体的にすり合わせたわけではな      いのですが、今後の富士見丘小・中の基本的な連携の考え方や、改築に向けての      ビジョンを校長としての個人的な考えではあるのですが、まとめましたので、こ      れをもとに皆様のご意見をいただければと思います。</p> <p>(資料5の5ページの(1)について説明)</p> <p>中学校の立場から申し上げますと、富士見丘小学校と高井戸小学校とこの3つ      で小中連携教育を進めるというのが区の方針になっておりますので、区の方針に      基づいて、例えば現在も小中合同の地域清掃に取り組んだり、3校の教員が集ま      って合同の教育研修を進めたりしています。それは引き続き継承していきたいと      思っているところでございます。</p> <p>(資料5の5ページの(2)を説明)</p> <p>小学校の学区域が全て含まれる富士見丘小学校と、富士見丘中学校と他の中学      校に学区域のまたがっている高井戸小学校。高井戸小学校は4つの学区域にまた      がっております、それから久我山小学校は連携グループが宮前中学校となってお      ります。高井戸第二小学校は西宮中学校と連携校になっております。学区が重な      っているので、学校単位の連携が非常にやりにくいです。富士見丘小学校は、富      士見丘中学校とだけ連携をすればよいですが、高井戸小学校は富士見丘中とだけ      ではなく、高井戸中とも連携をしなければならない、といったことになります。      従って、学校単位としての連携活動よりも、富士見丘中学校区の児童・生徒を対      象とした地域連携教育のあり方を検討していく方が現実的なのではないかとい      うご提案です。具体的には、例にあげております活動などです。</p> <p>これからの話ですが、富士見丘中学校区の小学5年生～中学3年生を対象とし      た部活動や地域クラブの実施ができればよいと考えております。</p> <p>次に、6ページの「3改築に向けてのビジョン」になります。案を作って小学      校校長先生と色々考えさせていただきました。全部実現できるとは考えておりま      せんが、まとめたものをご報告させていただきたいと思ひます。</p> <p>(資料5の6ページを説明)</p>

	学校づくりの根幹になる非常に大切なテーマになるかと思っておりますので、ご意見、ご感想をいただけたらと思っております。
委員	大変素晴らしいビジョンだと思いますが、予算はどうなのですか。
学校整備担当部長	予算はまだはっきり決まっていません。他の学校の例から、1つ建てるのに備品等含めて40億くらいはかかっています。小学校で40億、中学校で40億、2つで80億になります。そのくらいは学校改築ではかかっております。
委員	品川の豊葉の杜学園で70億だったと思うのですが、こちらの狭い敷地で建てるのならば、かなりいい建物になるのではないのでしょうか。
学校整備担当部長	前回の視察で、2校見ていただきましたが、杉並区が極端に下がるということはないので、見た目もグレードも同じくらいの学校はつくれるかと考えております。
委員	それは、横並び意識でやられるということですか。
学校整備担当部長	横並びということではないです。大体の学校は、華美でもないし、それほどチープでもない作りで設計を進めます。
委員	改修に向けてのビジョンが素晴らしいものなので、是非実現してもらいたいと思ってしまったもので、内装等は標準的なもので結構なので、施設等整えていただければと思っております。
進行役	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
委員	良いビジョンだと思います。改築基本方針の中に教育目標をきちんと立てていただいているので、それに基づいての学校からの提案ですから。富士見丘小学校はコミュニケーション能力の育成を重視していますが、例えば今この会議を行っている部屋は特別教室ですが、このくらいの部屋があると、ミニ発表会であるとかワークショップができたりとか使い勝手がとても良いです。学校の大事にしている特色に配慮して、建物の中身を考えていただければと思っております。例えば体育館は、大は小を兼ねません。体育館でワークショップを行うことができるかという点、広すぎて使いにくいです。そのようなことを考えると、この特活室のような部屋が確保されていたらよいと思っております。また、長い目で見ると、プールが温水になれば、季節、天候など気にせずに使え、スケジュール調整が楽になるので、予算等の問題もありますが、温水プールがあるとよいと思っております。また、地域に開放という考え方は、これから絶対に必要な考え方かと思っております。品川区の学校のように、シャッターでエリア、動線の確保を設計の段階からしていただければと思っております。
学校整備課長	本当にビジョンがそのまま実現できればよいのですが、先ほどお話したように面積も限られており、予算の話もあり、最終的には議会で議決をいただいて認められるかどうか等、様々な制約があります。実際この内容を載せてみると、20,000㎡を超えてしまうこともあります。単純に削るのではなく、せっかく小・中が並んでいるので、あわせて2ではなく1.5というスペースでうまくやれば、

	色々なものが入っていくと思います。その辺りの知恵もいただきながら、できるだけ理想に近づけたらと、個人的には思っています。
委員	質問なのですが、一貫校になるかならないかは、いつ決定しますか。
学校整備担当部長	本日、2校の校長先生からいただいた改築へのご意見を持ち帰らせていただきたいと思います。施設一体型とするか隣接型にするのか、建物の作りと中身のソフト面は別々に考える必要があります。敷地の間にある道路をなくして1つの敷地にすると規制がどうなるのか、真ん中の道を残した時の方が有利なのかどうかは次回お示しします。その諸条件の中で、一貫校がどのようにできるのか、次回以降決めていかなければならないと考えております。また、コンセプトであったり、小中学校がどう住み分けるか検討できませんので、早めに決めなければならないと思います。次回くらいには決定しなければ、設計の検討ができないと考えています。
委員	一貫校にするかは、学校整備担当部長が決めれば、決まってしまうのですか。
学校整備課長	改築基本計画の中で、小中一貫教育の連携の考え方を第1回目の懇談会、今回でも、両校の校長先生からいただきました。和泉学園のように2つの小学校を統合したり、高円寺のように3校合同で行うとやりやすいのですが、富士見丘小学校は小学校と中学校が隣接して建設されているだけで、小中一貫校だと言ってしまうと中学校にあがって来る、富士見丘小学校以外の小学校に問題がでますので、その辺りの意見を踏まえて検討しますと、自ずと方向性が見えて来るのではないかと思います。ご意見を踏まえた上で、次回案をお示しし、この懇談会の中ではこのような案がよいということが決まっていくかと思っております。
委員	小中一貫であれば、9年間の教育目標を作っていくと、より具体的に運営しやすいのではないかと思います。この学区域の場合は、富士見丘小学校と他の小学校との整合性が問題になるかと思います。9年間通しの教育目標を使うのと、6年間は別の教育目標のもとで過ごして、3年間合流するのは少し厳しいかと思えます。
済美教育センター統括指導主事	今いただいた、小中一貫教育の考え方なのですが、杉並区では施設一体型・隣接型・分離型の3つの考え方で進めているのですが、基本的にどの型であっても同じ小中一貫教育の考え方をもっています。大きく2つございますが、1つ目は、どの型であっても6-3制は維持して、小学校6年間、中学校3年間は分けて教育課程を考えており、中学校の学習内容を小学校で指導するなどの先取り学習等は行っておりません。また、2つ目は、どの型においても地域との連携を大切に教育活動を進めていくことです。杉並区ではどの型においても、これら2つの考え方に基づいて、小中一貫教育を進めております。
委員	ビジョンについてのお話なのですが、自習スペースの確保はお勧めです。先日都立新宿高校の見学に行ったのですが、元々食堂だった1階に自習室がありまして、長テーブルと椅子を並べているだけなのですが、教員の方に見学に入ってよろしいですかと聞いたところ、少しためらわれていました。教員の方でも入りにくいそうです。なぜなら、飲食禁止、一滴でも飲む際は室外でというような貼り

	紙をされていて、非常に厳しい環境です。都立新宿高校は 1955 年頃は東大合格者で日比谷の次の 2 番目だったのですが、だいぶ下がってきて、また今戻ってきています。夜も下校時間を延ばして、一定の時間まで監督者を付けてきっちり自習させるということを行っております。今のご家庭の状況からすると、なかなか帰宅してから集中できる時間の確保が難しいですから、このような自習スペースの確保はお勧めです。
進行役	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
委員	見学しました 2 校で、放課後の居場づくりで、多くのお子さん達がいらっしやっていたのですが、そのようなスペースは考えられているのでしょうか。
子どもの居場所づくり担当課長	杉並区では、放課後等居場所事業と呼んでおり、児童館での一般来館の機能を小学校の中に継承しているものです。富士見丘小学校においても本格実施する予定で、スペースにつきましては、多目的室、視聴覚室、体育館、校庭などを放課後にシェアして使わせていただこうと考えております。
委員	1 学級は 30 人でしょうか。
教育施設計画推進担当係長	小学校は 1 学級 35 人、中学校は 1 学級 40 人です。
委員	私の子どもころは学級 50 人くらいでした。30 年後は、子どもはどのくらいいるのか、どのように今後の子ども的人数を推定して学級数を決めるのかと思うのですが、30 年前の学校が今どうなっていて、これから作るにはどうしたらよいのかということがあれば教えていただきたいです。
学校整備担当部長	<p>高度成長期時代に、杉並区は学校の増築を繰り返して、今の富士見丘中学校のような片側廊下の学校を作っていましたが、20 年前からオープンスペースと言って教室の前に同じくらいのスペースを取ったり、扉を無くして少人数教室ができたり、クラスを分かれて様々な教育ができるようになってきました。ただ、反省点としては、オープンスペースで広いスペースを取っていくと、小学校で 9,000 m<sup>2</sup>となっています。既存の学校が 5,000 m<sup>2</sup>から 6,000 m<sup>2</sup>で、3,000 m<sup>2</sup>も面積が増えているのですが、クラス数は半分しかない状況です。では空きスペースを何に使うかということ、色んなゆとりのスペースもあるのですが、お金がかかってしまうということと、子どもが減ってきている中で、有効なスペースが減ってきています。これは新校でもあります。</p> <p>あわせて、ここ 4、5 年で建った学校で人気のある学校は児童数が増えて、教室が足りなくなってしまうオープンスペースを教室として使ってしまった学校もあります。具体的には高井戸小学校です。もうひとつは、昭和 40 年代に建ったマンモス校が昔は 18 クラス以上あったものが今は 3 クラスしかなくなった等の理由でできた、残った空き教室です。昔は「空き教室」と呼んでいましたが、今は「余裕教室」と呼んでいます。その違いというのは、今は学校の先生方の更衣室が必要だったり、会議室が必要だったり、特別支援や学校支援本部の部屋も必要であったり、色々な部屋が必要になってきています。そして、その空き</p>

	<p>教室をそれに使ったとしても、概ね1～2教室は使われない部屋が出てきていますし、中学校は4クラスくらい余裕があります。しかし、それは弾力的に使っていますので、それをどうするかということが今のご指摘の課題とっております。</p> <p>社会や街がどうなるか、10年先以上の状況を推測することは困難です。それなので、せめて今後10年くらいがどうなのかで設計をします。しかし、教室数が不足する学校を作ってしまうと取り返しがつきません。仮設校舎を追加で作れません。従って、ある程度余裕を持った教室数のある学校作りが必要です。ただ、子どもの人数のピークがくるのは一定でないので、空き教室は都度でできますので、フレキシブルな学校作りが必要だと思えます。昔の学校はコンクリートの壁で教室を囲まれているので、改修しようと思っても壁が取れず、他の部屋に転用できません。これからは、可変で将来改築が可能な構造にしておくことや、可動間仕切りにしておく等、フレキシブルな学校作りが必要かと思っています。また将来、子どもの数が減って高齢者が増えます。学校は単独な学校作りではなくて、区立の複合施設とする必要があります。品川区の過去のマンモス校等は、区立の高齢者施設に改修している学校が多いです。半分は小学校で、半分はデイサービス等で使用している状況で、そのようなことも視野に入れた学校作りが必要となってくるかと思っています。</p>
進行役	<p>その他、ございますでしょうか。</p> <p>一貫校について、中学校の校長の立場だと、富士見丘小中だけの強い結びつきのあるものができてしまうと、学区域にある高井戸小、久我山小、高井戸第二小の子どもたちが中学校にあがる際に難しいのではないかと思います。改築校は高井戸公園の横にある、区内でも有数の素晴らしい学校が出来上がるかと思えます。そうなった時に、学区域にある高井戸小、久我山小、高井戸第二小の子どもたちが、小学校の時から改築校に通いたいということになって、想定以上に児童数が増えることは、是非視野に入れて計画を進めていただければと思います。</p>
学務課長	<p>和泉学園でも特例地域を設けて、児童の受け入れの動向を検証したりしています。今後、高円寺も同じような形で特例地域を設けていきます。今後の動向を見て判断していこうと考えています。基本的には、学校希望制はなくなっていますので、指定校に行っていただくのですが、指定校に行けない場合は指定校変更手続きというものを行ってもらうようになっていきますので、動向を見ながら総合的に判断しようかと思っております。</p>
進行役	<p>その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では次回、基本方針の議論をする予定となっておりますので、事務局から本日の意見を踏まえた案を示していただいて、再度議論をしていこうと考えております。</p> <p>では最後に、次第の6について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料6の改築かわら版創刊号(案)でございます。今回の一体的な整備の検討状況を、地域の方々、学校関係者の方々に、広く情報共有をしていくということ</p>

	<p>で、今回を皮切りに、このようなニュースの配布を行っていこうと思います。資料6の1ページ目、今までの経緯や、改築計画の概要を示してございます。2ページ目は改築懇談会の名簿と、第1回目の検討状況、そこでの主な意見を載せてございます。第2回目の懇談会は視察でございましたので、写真等載せてございます。最終面には、改築の想定スケジュールと、懇談会の今後の予定等を示してございます。</p> <p>続きまして資料7です。改築かわら版の配布の概要についてでございます。基本的には、近隣の住民の方、それから学校関係者、今後就学してくる保育園・幼稚園の保護者の方々にできる限り広くお知らせするというので、学校あるいは町会・自治会、保育園、幼稚園を通して配布予定です。近隣につきましては100m程度の範囲に戸別配布を丁寧に行っていこうと考えています。</p> <p>今回7月に創刊号を配布し、今後につきましては中間のまとめや、改築基本計画策定時に、それ以降も必要であれば適宜発行してまいりたいと思います。</p>
進行役	ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。
委員	表記の仕方ですが、「小・中」と中黒で表現してしまうと、一貫校になると思われるのではないかと思います。いかがでしょうか。
学校整備担当部長	懇談会も「小・中」と中黒の表現で進んでいますので、持ち帰って検討させてください。
委員	どのような方々に配布されているのかの標記があるとよいのではないかと思います。
進行役	では、併せてご検討をお願いいたします。
学校整備課長	最後に、学識経験者ということで、先生からご意見をいただきたいと思います。
委員	杉並区の小中一貫の考え方に3つの柱があって、いずれにしても品川区のようなことは考えていないことがよく分かりました。小中4つの組み合わせの中でなにをするかというのは、次回たたき台を出していただくとしても、共通の理解がある中進めていかなければならないと思います。また、懇談会以外の地域の皆様にも改築計画の方針を分かっていたいただくことが必要かと思えます。説明会など、この場以外でも理解の共有の場を持つと思えますが、根幹となる、どのような連携の形になっていくのかという考え方の共有が大切であると思えます。
学校整備課長	そうですね。その辺りも含めて、中間のまとめのような段階で、地域の方、保護者の方へお知らせする予定です。
委員	かわら版に委員の名簿が載っているのですが、通りがかりの人に声を掛けられて質問等された際は、裏面の連絡先をお知らせすることでよろしいですか。
学校整備担当部長	結構です。
委員	内容について聞かれた時は、どの程度までお話ししてよいですか。
学校整備担当部長	お答えできることはお話ししていただいて大丈夫ですが、基本的には、事務局でお答えしていきますので、何かありましたら教育委員会へ連絡をしていただく

	よう伝えていただければ大丈夫です。
学校整備課長	検討会の内容はホームページにアップしておりますし、懇談会に自由に参加していただいて傍聴することが可能です。資料の範囲であれば、ご説明していただいて大丈夫です。会議録もホームページに掲載しております。
進行役	他にございますでしょうか。では、閉会の前に、事務局の方から連絡事項をお願いします。
教育施設計画推進担当係長	次回以降の日程ですが、第4回は7月30日（月）午前10時から、第5回は8月21日（火）午前10時からとなっております。場所については未定となっておりますので、決まり次第開催通知でご連絡いたします。また、議事録については前回同様にご確認をお願いいたします。
進行役	では、本日はこれで終了とさせていただきます。ありがとうございました。